

2024 年度の CO₂総排出量は 4,586t-CO₂であり、2021 年度（策定年度）から 285t-CO₂ 減少する結果でした。項目別の排出量では、①ガソリンや⑤LP ガス等で増加し、⑥電気で減少しています。

排出量の構成比は、⑥電気が 88.2%と最も多く、次いで⑤LP ガスが 5.3%、①ガソリンが 2.6%、その他の項目は 1%程度でした。2021 年度（策定年度）と比較すると、①ガソリン、⑤LP ガスの割合が増加し、⑥電気の割合が減少しています。

表 1 各算定項目の CO₂排出量（基準年度/策定年度/現況年度）

算定項目		CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)			
		2013 年度 (基準年度)	2021 年度 (策定年度)	2024 年度 (現況年度)	
				排出量	2021 年度 からの増減
燃料の使用	①ガソリン	83	40	121	+81
	②灯油	104	17	34	+17
	③軽油	42	18	38	+20
	④A 重油	150	39	40	+1
	⑤LP ガス	171	150	245	+95
他人から供給された 電気の使用	⑥電気	7,489	4,328	4,043	-285
一般廃棄物の焼却	⑦焼却	67	73	65	-8
合 計		8,106	4,665	4,586	-80

※1 CO₂排出量は、整数で示しているため、合計値が合わない場合があります。

※2 2024 年度の⑦焼却による排出量は暫定の結果を示しています。

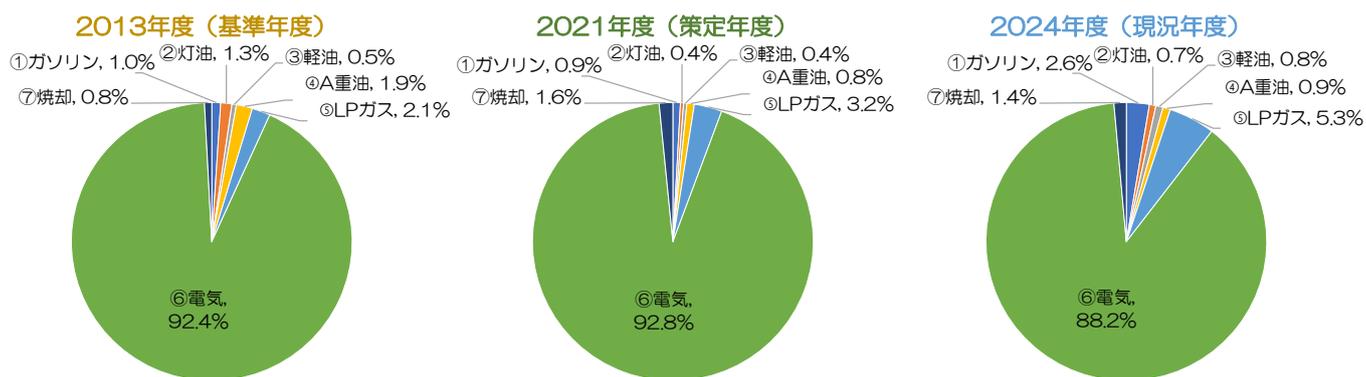
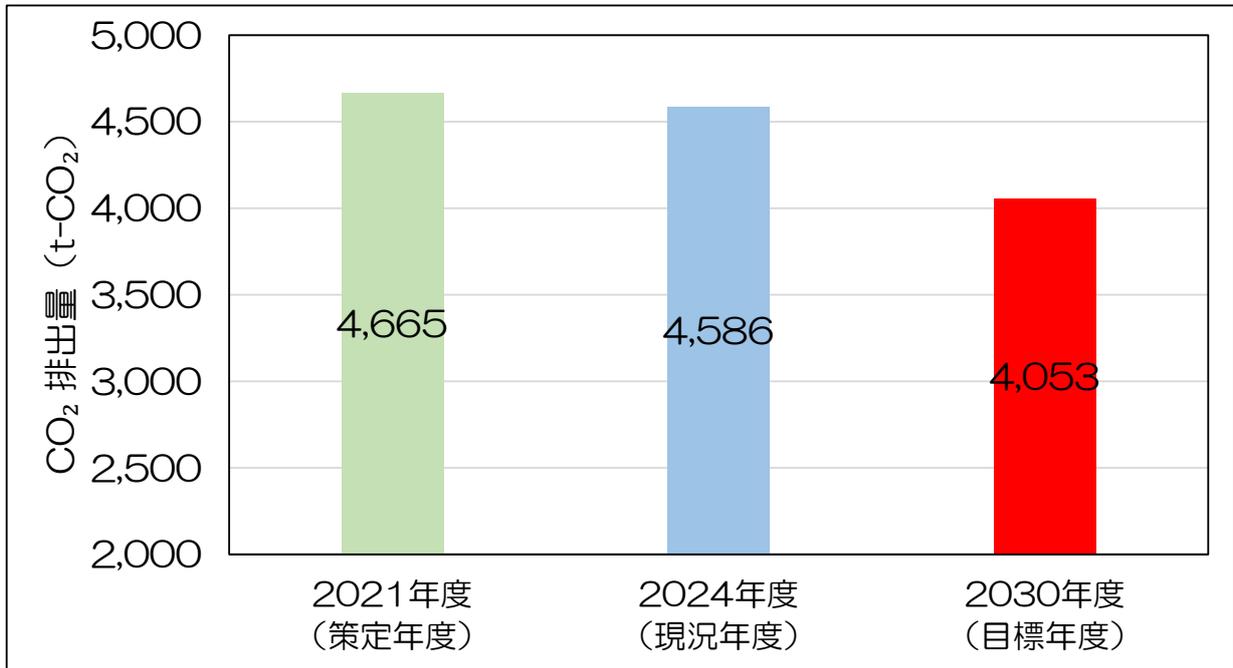


図 1 CO₂排出量の構成比（基準年度/策定年度/現況年度）

2024年度のCO₂総排出量は4,586t-CO₂であり、2021年度（策定年度）から減少する結果となっています。2030年度の目標達成のためには、今後もさらなる取組実施に努め、電気・燃料使用量の削減を図っていく必要があります。



※2030年度のCO₂排出量は、目標値を示しています。

図 2 CO₂排出量の推移と2030年度の目標値

事務事業では、排出量削減への取組として、前年度に引き続きグリーン購入やエアコン設定温度の緩和等を実施しました。

今後さらに排出量を削減するためには、研修やポスター掲示を通じた意識啓発、市有建築物や公用地への太陽光発電導入の積極検討、公用車の使用抑制・効率化等に取り組んでいく必要があると考えられます。

表 2 排出量削減目標の達成に向け2024年度に取り組んだ内容

取組方針	実施内容
事務事業の横断的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 設備管理台帳の作成（各施設の運用状況等を整理） グリーン購入の推進（紙類、文具類等） 3Rの推進によるゴミ焼却量の減少の推進
建築物に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 建築物における省エネルギー対策の徹底（エアコン設定温度の緩和） LED照明の導入
公用車に関する取組	—
公用地での取組	—